

令和 8 年度
中海・宍道湖・大山圏域市長会
事業計画(案)

目次

1 令和8年度 中海・宍道湖・大山圏域市長会事業方針（案）	……p. 4
2 一般会計	
(1) 事務局運営費	
①事務局運営費	……p. 6
(2) 事業費	
1. 活力にあふれる圏域づくり（産業振興）	
①圏域企業の産業連携支援事業	
・圏域内企業情報データベースの充実、圏域内企業のビジネスマッチング	……p. 7
②圏域内企業の海外展開支援事業	
・海外商談会参加等支援事業	……p. 8
・インドとの経済交流事業	……p. 9
・台湾との経済交流事業	……p. 11
③山陰いいものマルシェプロジェクト	
・山陰いいものマルシェプロジェクト	……p. 12
2. 訪ねてみたい圏域づくり（観光振興）	
①一社）圏域観光局への負担金	
・一社）圏域観光局への負担金	……p. 13
3. 次代につなぐ圏域づくり（保全・継承と活用）	
①自然環境の保全・活用事業	
・自然環境の豊かさ・保全に係る普及啓発	……p. 14
4. とともに歩む圏域づくり（連携と協働）	
①圏域情報の共有・発信	
・圏域内外のエリアプロモーション	……p. 15
②圏域内の連携・交流推進	
・圏域内の連携・交流推進	……p. 16
・圏域の将来を担う人材の育成	……p. 17
・文化・スポーツ交流促進事業	……p. 18
・中海・宍道湖レガッタ開催支援事業	……p. 19
・移住・定住促進事業	……p. 20
③安心して暮らすことのできる環境づくり事業	
・防災対策の充実	……p. 21

2 特別会計 環日本海貨客船航路就航支援補助金

(1) 環日本海貨客船航路就航支援

1. 定期貨客船航路就航支援補助金 ……p. 22

参 考 令和8年度 中海・宍道湖・大山圏域観光局当初予算（案）及び事業計画（案）

- 1 令和8年度事業運営方針一式（案） ……p. 24

- 2 一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域観光局令和8年度当初予算（案） ……p. 30

- 3 一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域観光局事業実計画（案）

- ① ブランディング
・ブランディング ……p. 31

- ② マーケティングリサーチ
・データ分析・活用 ……p. 32

- ③ プロモーション
・インバウンドプロモーション ……p. 33
・国内プロモーション ……p. 34

- ④ 受入環境整備
・外国人受入環境整備 ……p. 35
・国内受入環境整備 ……p. 37

- ⑤ 加入団体会費等
・加入団体会費等 ……p. 38

- ⑥ 中海・宍道湖・大山圏域観光局事務局運営費
・中海・宍道湖・大山圏域観光局の運営 ……p. 39

令和 8 年度 中海・宍道湖・大山圏域市長会事業方針（案）

1 基本方針

令和 8 年度は、圏域のスケールメリットをいかし、活発化している台湾、インドとの経済交流を一層進めるとともに、これまでの要望活動が実を結びつつある中海・宍道湖 8 の字ルート、中国横断新幹線（伯備新幹線）等の整備を引き続き推進する。

また、地域の多様な関係者との合意形成を図ることにより、持続可能な観光地づくりに取り組むほか、若者をはじめとした幅広い年代の人々が圏域の繋がり・一体感を感じられる事業を行うなど、他の地域にない圏域の魅力を創出、発信し、選ばれる圏域、持続可能な社会を実現する。平成 24 年の圏域市長会の設立から 10 年以上が経ち、圏域を取り巻く課題が変化する中、市長会として取り組むべき事業について見直しを行いながら、より効果的な事業実施をめざす。

【海外との経済等交流の促進】

台湾交流においては、台日産業連携推進オフィス（TJPO）と連携し、台湾企業と圏域企業が協力して地域課題の解決を目指す取組を支援するなど、経済交流の活発化を図る。また、台湾人材のインターンシップ受け入れを新たな事業として取り組む。

インド・ケララ州との交流においては、令和 7 年 10 月に再調印した MOU に基づき、事業推進組織を設置し、重点分野における具体的な成果に繋がるよう取り組む。これらにより両地域との企業連携を促進し、経済交流等の拡大を図る。

【圏域インフラの整備推進】

「中海・宍道湖 8 の字ルート」について、「計画段階評価」という具体的な検討段階に入り、整備に向けた気運が高まっているところであり、「中海・宍道湖 8 の字ルート整備推進会議」を中心に、早期完成を目指す取組を引き続き支援する。これに加え、中国横断新幹線（伯備新幹線）、重要港湾境港等、圏域の社会インフラの充実に向け、中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会をはじめ関係団体との連携を強化し、圏域が一丸となり邁進していく。

【圏域への誘客促進】

国内誘客においては、女子旅につながる人気アニメを活用した周遊事業や基幹交通機関と連携したプロモーションなどに取り組む。

海外誘客においては、米子鬼太郎空港からの直行便がある台湾・韓国を引き続き重点事業として取り組むほか、欧米豪も含めたインバウンド戦略策定・ブランドづくりに取り組む。

地域の多様な関係者と合意形成を図りつつ、上記の事業を進め、観光消費額の拡大を図るとともに持続可能な観光地域づくりに努める。

【圏域の豊かな自然環境の普及啓発】

令和 7 年度の宍道湖・中海のラムサール条約 20 周年を契機に高まった環境保全の気運を引き続き醸成し、次代へ向けた持続可能な開発目標達成に向けて取組を行う。

2 令和8年度事業の主なポイント

(1) 活力にあふれる圏域づくり【産業振興】

○台湾との経済交流事業

- ・台日産業連携推オフィス（TJPO）と連携した社会実験の実施
- ・台湾人材短期インターンシッププログラムの実施
- ・台北温泉祭及び春節前建国花市での圏域PRによる認知度向上

○インドとの経済交流事業

- ・インターンシップ事業の拡充
- ・令和7年10月に再調印したMOU及び実施計画に基づき事業推進組織を設置、重点分野での連携を推進

○山陰いいものマルシェプロジェクト

- ・従来のスタイルを見直し、圏域外マルシェの開催や越境ECサイトの活用など、一層の「地産外消費」に取り組む。

(2) 訪ねてみたい圏域づくり【観光振興】

○インバウンド誘客促進事業

- ・韓国・台湾の両国を対象とした旅行商品開発補助及び誘客促進事業
- ・欧米豪のモダンラグジュアリー層も視野に入れた全体的なインバウンド戦略策定、ブランディング、プロモーション

○国内誘客促進事業

- ・基幹交通と連携した誘客促進事業
- ・若い女性に人気のアニメとタイアップした圏域周遊事業

○持続可能な観光地づくり

- ・データ収集・分析の充実、地域の多様な関係者を集めた体制構築

(3) 次代につなぐ圏域づくり【保全・継承と活用】

○自然環境の豊かさ・保全に係る普及啓発

- ・子ども探検スクールの開催（自然環境学習に加えSDGsの取組）
- ・ラムサール条約登録20周年を契機に高まった環境保全の気運を醸成する事業の実施

(4) ともに歩む圏域づくり【連携と協働】

○圏域内の連携・交流推進

- ・「中海・宍道湖8の字ルート整備推進会議」、「中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議」等による圏域交通ネットワーク整備推進に向けた要望活動及地域PRの実施

1 一般会計

01 事務局運営費

1 事務局運営費

事業名等	事務局運営費		
事業概要		令和7年度予算額	9,313,000 円
中海・宍道湖・大山圏域市長会事務局の運営にかかる経費。 圏域市長会の円滑な運営を図るため、市長会規約第11条第1項の規定に基づき、事務局を置く。	財源内訳	令和8年度予算額	9,393,000 円
		国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
		負担金	特定
		一般	4,313,000 円

1. 事業内容

- (1) 各種会議の開催
 総会
 幹事会
 企画担当課長会
 産業振興担当課長会
 観光振興担当課長会
 環境担当課長会
 総合戦略推進委員会 ほか
- (2) 事務局の運営

2. 経費内訳

費目	R7 予算	R8 予算	比較	備考
会議費	600,000	600,000	0	
旅費	300,000	300,000	0	
需用費	800,000	800,000	0	
役務費	550,000	550,000	0	
委託料	40,000	40,000	0	
使用料及び賃借料	1,823,000	1,823,000	0	
備品購入費	200,000	200,000	0	
人件費負担金①	5,000,000	5,080,000	80,000	事務局長人件費 R6実績:5,024,258円
人件費負担金②	0	0	0	事務局員人件費
計	9,313,000	9,393,000	80,000	

1. 活力にあふれる圏域づくり（産業振興）

02 事業費

事業項目	01 圏域企業の産業連携支援事業				
事業名	圏域内企業情報データベースの充実、圏域内企業のビジネスマッチング				
事業概要			令和7年度予算額	11,550,000 円	
			令和8年度予算額	11,915,000 円	
	圏域内の経済団体・行政で構成する「中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業実行委員会」と連携し、圏域内企業の連携支援を行う。	財源内訳	国・県支出金		0 円
			補助金		0 円
			負担金	一般	11,915,000 円
特定				0 円	

1. 事業内容

圏域内企業の取引拡大や連携促進等による圏域経済の活性化を図るため、圏域内の商工団体・行政で構成する「中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業実行委員会」（事務局：松江市産業経済部ものづくり産業支援センター）へ業務委託し、ビジネスマッチング商談・展示会の開催等を行う。

(1) 圏域内企業情報データベースによる情報発信
圏域内企業間での産業連携や域外企業との新たな事業連携を促進するため、「圏域ものづくり.net」の掲載企業情報をさらに充実させ、圏域内外企業へ情報発信を行う。

(2) 圏域内企業のビジネスマッチング商談・展示会の開催
ビジネスマッチング商談会・展示会・名刺交換会を開催することで、販路拡大、共同開発、技術支援、業務提携の促進等、圏域経済の活性化を図る。

「ビジネスマッチング商談・展示会 2026」
日時：令和8年10月22日（木）
会場：夢みなとタワー（境港市竹内団地 255-3）

2. 経費内訳

中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業実行委員会への委託料等 11,915,000 円

02 事業費

事業項目	02 圏域内企業の海外展開支援事業		
事業名	海外商談会参加等支援事業		
事業概要		令和7年度予算額	3,000,000 円
海外で行われる商談会等に参加する圏域内の企業へ補助金交付を行い、海外展開やインバウンドの推進に繋がる取組を支援する。		令和8年度予算額	3,000,000 円
	財源内訳	国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
		負担金	一般
特定	0 円		

1. 事業内容

圏域内企業における自社製品・技術等の海外販路開拓及び外国人観光客の誘致に向けた海外商談会参加等の自主的な取組を支援する補助金を交付する。

海外商談会参加等支援補助金

海外商談会等へ参加する圏域内の企業に対し補助金を交付する。

- ・実施期間 令和8年5月～令和9年3月
- ・募集期間 令和8年5月～令和9年1月
- ・対象者 圏域5市に本社または主たる事業所を有する中小企業等または複数の企業により構成されるグループ・団体
- ・補助金額 原則、補助対象経費の1/2 補助上限額10万円
ただし、以下の場合は、①に応じた補助率、補助上限額。
①韓国、中国、インド及び台湾での商談会等に参加する場合
補助対象経費の2/3 補助上限額15万円
- ・申請回数限度 同一の申請者は、同一年度に1回を申請限度とする。

2. 経費内訳

海外商談会参加等支援補助金 3,000,000 円

事業項目	02 圏域内企業の海外展開支援事業		
事業名	インドとの経済交流事業		
事業概要		令和7年度予算額	23,710,000 円
		令和8年度予算額	16,764,000 円
	財 源 内 訳	国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
		負担金	一般
特定			0 円

1. 事業内容

圏域とインド・ケララ州を繋ぐグローバルな視野を持つ IT を含む理工系人材の圏域内企業への就職、日印企業連携推進を目的に、圏域の産業・経済団体、国立大学、山陰インド協会、自治体等で構成する「中海・宍道湖・大山圏域インド人材受入・企業連携推進事業実行委員会」（事務局：松江市新産業創造課）へ業務委託し、ケララ州の IT を含む理工系分野を専攻する大学生・大学院生※1 を対象に圏域内企業へのインターンシップ及び日本語教育を実施する。

また、ケララ州政府との MOU に基づき、幅広い分野での連携内容を着実に実行していくため、官民が一体となり進捗を共有しながら日印交流の新たな展開を実現する仕組みを構築する。

また、令和7年10月にケララ州政府と再調印した新たな MOU に基づき、幅広い分野での具体的な連携を着実に実行するため、官民が一体となり、進捗を共有しながら日印交流の新たな展開を実現する仕組みを構築する。

※1…島根大学の協定校が対象（コチ理工大学/ラジャギリ工業技術大学/SCMS）

(1) インド・ケララ州留学生等のインターンシップ

インド・ケララ州3大学の留学生等にインターンシップを提供する。

① 短期インターンシップ事業

対象：インド・ケララ州の IT 分野専攻の大学生6名

インターンシップ期間：約2週間

② 長期インターンシップ事業（島根大学交換留学生）

対象：インド・ケララ州の理工系分野の大学院生6名

インターンシップ期間：留学期間6か月の中で実施

(2) オンラインでの日本語教育

インターンシップ生の来日前にオンラインでの日本語教育を行う。

- ・短期インターンシップ生（上記①）教育期間：7月～1月（約半年間）
- ・長期インターンシップ生（上記②）教育期間：11月～9月（約1年間）

(3) インドコミュニティ形成

インドコミュニティによる交流会やサポートし合える体制を構築する

- ・産官学からなる交流会の実施
- ・インド人材受入応援プロジェクト
→インターンシップ受入経験のある企業が受入未経験企業へのサポートを行うもの

(4) 新MOUに基づく計画策定のための訪印経費

(5) 新MOUに基づく事業推進組織運営

2. 経費内訳

○インド人材受入・企業連携推進事業実行委員会への委託費 12,464,000 円

- ・インターンシップ 7,534,000 円
- ・日本語教育支援 4,680,000 円
- ・事務費 250,000 円

○訪印旅費及び諸経費 2,800,000 円

事業の進捗に応じ、関係職員の訪印経費を計上

- ・関係職員 2,400,000 円 (@800,000 円×3人)
- ・雑費等 400,000 円

○新MOUに基づく事業推進経費 1,500,000 円

山陰インド協会、中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会、島根大学及び中海・宍道湖・大山圏域市長会で構成する組織において、新MOUに基づき、農業、漁業、貿易、IT、観光、環境・エネルギー等の各分野で連携を進めていくための経費

《内訳》300,000 円×5 分野=1,500,000 円

02 事業費

事業項目	02 圏域内企業の海外展開支援事業			
事業名	台湾との経済交流事業（中海・宍道湖・大山圏域台湾交流事業実行委員会）			
事業概要			令和7年度予算額	16,430,000 円
			令和8年度予算額	19,080,000 円
	圏域企業の台湾市場における展開を促進するとともに、台北温泉祭、春節前建国花市に合わせて圏域 PR を行う。	財源内訳	国・県支出金	0 円
			補助金	0 円
			負担金	19,080,000 円
		特定	0 円	

1. 事業内容

中海・宍道湖・大山圏域台湾交流事業実行委員会を組織し、企業の台湾進出への支援体制の充実を図る。また、台北温泉祭、春節前建国花市の開催に合わせ、圏域の PR を行う。令和8年度からは、短期インターンシップの受け入れを行う。また、台日産業連携推進オフィス（TJPO）と連携し、台湾企業と圏域企業が協力して地域課題の解決を目指す取組を支援する。

- (1) 台湾人材の雇用
- (2) 販売戦略、商品、製品、サービス開発に向けた支援
- (3) ビジネスマッチングの開催
- (4) フード台北等への参加企業支援
- (5) 台北温泉祭及び春節前建国花市への参加
- (6) 台湾での文化イベントの開催
- (7) 事業推進のための支援組織運営
- (8) 台湾人材短期インターンシッププログラム
- (9) 台日産業連携推進オフィス（TJPO）社会実験

2. 経費内訳

- | | |
|---|-----------------|
| (1) 台湾人材の雇用 | 5,230,000 円 |
| (2) 販売戦略、商品、製品、サービス開発に向けた支援 | 2,650,000 円 |
| (3) ビジネスマッチングの開催 | 1,000,000 円 |
| (4) フード台北等への参加企業支援 | 800,000 円 |
| (5) 台北温泉祭、春節前建国花市への参加 | 4,000,000 円 |
| (6) 台湾での文化イベント開催 | 500,000 円 |
| (7) 事業推進のための支援組織運営 | 300,000 円 |
| (8) 台湾人材短期インターンシッププログラム | 1,600,000 円 |
| (9) 台日産業連携推進オフィス（TJPO）社会実験（@600 千円×5 市） | 3,000,000 円 |
| | 合計 19,080,000 円 |

02 事業費

事業項目	03 山陰いいものマルシェプロジェクト			
事業名	山陰いいものマルシェプロジェクト			
事業概要			令和7年度予算額	7,500,000 円
			令和8年度予算額	7,500,000 円
	財源内訳	国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
		負担金	一般	7,500,000 円
特定	0 円			
<p>山陰の中核地域である中海・宍道湖・大山圏域の官民組織が連携し、山陰が誇る「いいもの」を再発掘するとともに、JR西日本等とタイアップし、全国へ情報発信をする。</p> <p>1. 事業内容 JR西日本、山陰中央新報社、JETRO、中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会及び圏域市長会の5者で構成する「山陰いいものマルシェプロジェクト実行委員会」（事務局：松江商工会議所）と協定を締結し実施する。 従来行ってきた圏域内マルシェを見直し、令和8年度は圏域外マルシェ・商談会の開催及び越境ECサイトを活用しながら、「地産外商」の一層の拡大を図る。</p> <p>（1）圏域外でのマルシェ及び商談会の開催 関東・関西圏も含めた都会地でのマルシェ開催を予定</p> <p>（2）越境ECサイトの活用</p> <p>2. 経費内訳 山陰いいものマルシェプロジェクト実行委員会への負担金 7,500,000 円</p>				

2. 訪ねてみたい圏域づくり（観光振興） 協定に基づき（一社）観光局が実施

事業項目	01 一社）圏域観光局への負担金			
事業名	一社）圏域観光局への負担金			
事業概要			令和7年度予算額	45,879,000 円
			令和8年度予算額	45,879,000 円
	財源内訳	国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
		負担金	一般	45,879,000 円
特定	0 円			
<p>1. 事業内容</p> <p>「訪ねてみたい圏域づくり観光振興事業」の実施に関する協定書に基づき実施。</p> <p>2. 経費内訳</p> <p>令和8年度中海・宍道湖・大山圏域観光局事業計画（案）・予算（案）に基づく内容については本事業計画 P23 以降を参照。</p> <p>* 訪ねてみたい圏域づくり事業を一括計上</p>				

3. 次代につなぐ圏域づくり（保全・継承と活用）

事業項目	01 自然環境の保全・活用事業				
事業名	自然環境の豊かさ・保全に係る普及啓発				
事業概要			令和7年度予算額	1,800,000 円	
			令和8年度予算額	1,800,000 円	
	圏域の次代を担う子どもたち等へ、自然環境に関する学習機会の提供等を行い、圏域の自然の豊かさや環境保全について普及啓発を図る。	財源内訳	国・県支出金		0 円
			補助金		0 円
			負担金	一般	1,800,000 円
特定				0 円	

1. 事業内容

ラムサール条約登録湿地である中海・宍道湖をはじめとする圏域の豊かな自然や環境について、子どもたち等へ体験を通して学習できる機会提供や情報発信企画等を行い、圏域の自然環境の普及啓発や保全、また、持続可能な開発目標（SDGs）に向けた取組の推進を図る。

(1) **子ども探検スクールの開催**

圏域の豊かな自然や環境施設等を活用し、自然環境やSDGsについて、子どもたちが現地で学習できる機会等を提供する。

①脱炭素をテーマとした施設見学、体験学習
 ②中海・宍道湖の水鳥観察、水環境学習
 ③海岸漂着ごみから学ぶ

※会場市以外の圏域の取組も紹介を行う。

(2) **自然環境の豊かさや保全等に係る情報発信**

各関係団体の取組との連携、ごみに関する意識啓発、ノベルティグッズの活用等により、圏域の自然環境の豊かさや保全等に係る普及啓発を図る。令和7年度のラムサール条約20周年により高まった環境保全の気運を引き続き醸成するための事業を実施する。

2. 経費内訳

子ども探検スクールの開催 1,050,000 円
 自然環境の豊かさや保全等に係る情報発信（ノベルティグッズ作成等） 750,000 円

4. とともに歩む圏域づくり（連携と協働）

事業項目	01 圏域情報の共有・発信				
事業名	圏域内外へのエリアプロモーション				
事業概要			令和7年度予算額	210,000 円	
			令和8年度予算額	210,000 円	
	圏域振興ビジョンに示す圏域の将来像、 ビジョンや市長会の活動の広報周知に努めるとともに、圏域内での一体感醸成、圏域外における認知度向上のための情報発信を行う。	財 源 内 訳	国・県支出金		0 円
			補助金		0 円
			負担金	一般	
特定					0 円
<p>1. 事業内容</p> <p>ホームページ等を活用した圏域内外への広報周知を実施する。</p> <p>2. 経費内訳</p> <p>○ホームページ運用管理委託料 210,000 円</p>					

02 事業費

事業項目	02 圏域内の連携・交流推進		
事業名	圏域内の連携・交流推進		
事業概要 圏域内の行政間や民間団体間、行政と民間団体等の更なる連携と交流を図る。	令和7年度予算額		8,670,000 円
	令和8年度予算額		8,870,000 円
	財源内訳	国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
		負担金	一般
特定	2,450,000 円		
1. 事業内容			
<p>圏域で一体となって推進すべき事業の精査、検討を行い、各市、各団体間での連携・交流推進を図るとともに、特定の課題に対して各市間、および各団体との意見交換の場を設けるなど、連携を促進するための仕掛けづくりを行う。</p>			
(1) 中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会との連携推進			
<p>合同勉強会を開催し、圏域の課題に対して共通認識を深めるとともに、相乗効果の高い事業展開を図る。</p>			
(2) 圏域内インフラの整備促進			
<p>圏域内のインフラ（中海・宍道湖8の字ルート、中海架橋、米子道（蒜山IC～境港間）、境港出雲道路、境港米子道路、境港整備、新幹線整備など）の整備促進に関する要望活動等を実施する。</p>			
(3) SNS等を活用した中海・宍道湖・大山圏域の情報発信			
<p>SNSやホームページ、各市広報等を活用して圏域の歴史・文化等をテーマに情報発信を行い、圏域の更なる一体感を醸成する。その際、若者をはじめ、幅広い年代の人々へ圏域の魅力が伝わるように工夫していく。</p>			
2. 経費内訳			
○意見交換会、合同勉強会の開催経費			240,000 円
○圏域内インフラの整備促進に関する要望活動に係る経費			700,000 円
○中海・宍道湖8の字ルート整備推進会議助成金			4,130,000 円
○中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議負担金			2,450,000 円
○シンポジウムの開催・記事作成経費			1,350,000 円
計			8,870,000 円

02 事業費

事業項目	02 圏域内の連携・交流推進			
事業名	圏域の将来を担う人材の育成			
事業概要			令和7年度予算額	1,700,000 円
			令和8年度予算額	500,000 円
	財源内訳	国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
		負担金	一般	500,000 円
特定	0 円			

1. 事業内容

中海・宍道湖・大山圏域の未来を切り広く推進力となる人材を育成するため、圏域の高校生を中心とした次世代の産業人材の育成及び技術・製品開発能力の向上に向けた機運醸成を目的とした発明楽コンテストに対し、支援を行う。

2. 経費内訳

発明楽普及支援事業 500,000 円

島根県立大学に対する支援 圏域観光局予算に計上（600,000 円）

観光人材の育成を主眼とし、令和7年2月に圏域観光局と島根県立大学は包括的連携協定を締結した。県立大学は、地域文化学科において観光と地域、観光まちづくり論などの科目を設け、文化を守り育て、地域の課題解決に資する観光について追及している。

圏域観光の演習に対し支援を行ない、観光人材育成のほか観光振興の研究、観光素材の発掘などの成果を期待する。

02 事業費

事業項目	02 圏域内の連携と協働			
事業名	文化・スポーツ交流促進事業			
事業概要			令和7年度予算額	1,600,000 円
			令和8年度予算額	500,000 円
	財源内訳	国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
		負担金	一般	500,000 円
特定	0 円			

1. 事業内容

圏域の各種団体による交流促進イベント（圏域内の伝統芸能の披露等）の費用の一部を支援し、圏域住民の交流促進の活性化を図る。

2. 経費内訳

○伝統芸能等による文化交流イベント開催支援事業 500,000 円
 （イベント交流事業開催支援補助金 @100 千円×5 市）

02 事業費

事業項目	02 圏域内の連携と協働		
事業名	中海・宍道湖レガッタ開催支援事業		
事業概要		令和7年度予算額	200,000 円
中海・宍道湖の自然環境の保全と賢明利用を推進するため、中海・宍道湖レガッタの開催を支援する。	財 源 内 訳	令和8年度予算額	150,000 円
		国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
		負担金	一般
		特定	0 円
<p>1. 事業内容</p> <p>中海・宍道湖を活用したレガッタ大会開催に係る支援</p> <p>中海・宍道湖レガッタ実行委員会に補助金を交付し、大会の円滑な実施を支援するとともに自然環境の保全・活用、エコツーリズムといった観光振興及び圏域内外の交流人口の拡大を図る。</p> <p>2. 経費内訳</p> <p>○中海・宍道湖レガッタ開催支援補助金 150,000 円</p>			

02 事業費

事業項目	02 圏域内の連携・交流推進			
事業名	移住・定住等促進事業			
事業概要		令和7年度予算額	3,130,000 円	
圏域人口60万人の維持に向けた移住・定住等の促進を図る。		令和8年度予算額	2,630,000 円	
	財源内訳	国・県支出金	0 円	
		補助金	0 円	
		負担金	一般	1,330,000 円
特定	1,300,000 円			
<p>1. 事業内容</p> <p>圏域内の人口を維持していくために、婚活イベントによる結婚に向けた機運の醸成や、東京大学や島根大学と連携した関係人口の創出を図る。</p> <p>(1) 婚活事業による移住・定住の促進に向けた取組 圏域内に居住、通勤通学または定住を考える独身男女を対象とした婚活イベントを開催することで、出会いの場を創出し、圏域への移住・定住の促進を図る。</p> <p>(2) 東京大学との圏域キャンパス事業 東京大学に通う学生との関わりを持つことで関係人口の創出を図る。また圏域を研究フィールドとして提供し、東京大学と圏域住民及び地元大学との交流を図る。</p> <p>(3) 島根大学・若者を共に育てるプロジェクト 島根大学の学生に、圏域の特色・戦略・課題を学ぶ機会を創出し、将来的に圏域で活躍する人材の育成と、若者の地域への定着促進を図る。</p> <p>2. 経費内訳</p> <p>○結婚支援の経費（出会いの場実行委員会への負担金） 1,300,000 円 【財源】国：地域少子化対策重点推進交付金 3/4</p> <p>○東京大学との圏域キャンパス事業に係る経費 250,000 円 （体験活動に係る経費）</p> <p>○島根大学・若者を共に育てるプロジェクトに係る経費 1,080,000 円 （島根大学への補助金）</p> <p>計 2,630,000 円</p>				

02 事業費

事業項目	03 安心して暮らすことのできる環境づくり事業		
事業名	防災対策の充実		
事業概要		令和7年度予算額	500,000 円
安全に安心して暮らすことのできる環境づくりを目指し、圏域が一体となり、広域的な防災体制の構築に向けた取組を行う。		令和8年度予算額	500,000 円
	財源内訳	国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
		負担金	一般
特定	0 円		

1. 事業内容

中海・宍道湖・大山圏域防災連絡協議会の開催及び防災資機材等の購入

- (1) 連絡協議会の開催（連絡協議会幹事市：出雲市）
- (2) 通信訓練の実施
- (3) 防災資機材等の購入

2. 経費内訳

○防災資機材の購入経費等 500,000 円

[連絡協議会幹事市（参考）]

R8 幹事市：松江市

※R3：松江市 R4：境港市 R5：米子市 R6：安来市 R7：出雲市 左記輪番制

2 特別会計

1 環日本海貨客船航路就航支援補助金

事業項目	01 環日本海貨客船航路就航支援補助金		
事業名	定期貨客船航路就航支援補助金		
事業概要		令和7年度予算額	15,600,000 円
東アジアに向けたゲートウェイ機能の継続のため、鳥取県と共同で、環日本海貨客船航路の運航を支援する。	財 源 内 訳	令和8年度予算額	15,600,000 円
		国・県支出金	— 円
		補助金	— 円
		負担金	— 円
		特定	15,600,000 円

1. 事業概要

定期貨客船航路就航支援補助金

圏域の基幹的な物流、観光インフラであることから、運航会社の初めての日本への定期貨客船就航を支えながら、航路の定着・継続を確保し、定期的な就航を促すため、境港-東海間の運航に必要な経費の一部を支援する。

2. 経過

環日本海定期貨客船航路は、DBS クルーズフェリーにより平成21年から境港と東海間で運航されていたが、令和元年11月に運休、令和2年4月には韓国海洋水産部へ運航免許返納され、令和2年度以降は航路が無かった。

令和6年8月から、トゥウォン商船株（本社：東海市）が、境港と東海間の定期貨客船運航を開始。

3. 事業内容

補助金相手方：環日本海経済活動促進協議会

- ・1航次につき、運航経費のうち固定経費の1/10（上限1,000千円）

@1,000千円×52航次×3/10=15,600千円

- ・負担割合：鳥取県7/10、市長会3/10

令和8年度当初予算（構成市の負担額）※1,000千円×52航次×3/10=15,600千円

松江市・出雲市・米子市各2,000千円 安来市1,000千円 境港市8,600千円

区分	松江市	出雲市	米子市	安来市	境港市	計
① 基本負担額	2,000	2,000	2,000	1,000	1,000	8,000
② 負担額	—	—	—	—	7,600	7,600
計	2,000	2,000	2,000	1,000	8,600	15,600

参 考

令和 8 年度

一般社団法人 中海・宍道湖・大山圏域観光局

当初予算(案)及び事業計画(案)

山陰まんなか ブランディング事業

展望

世界に誇る強いブランド力を持つ観光地を形成する

目的

圏域への観光誘客の推進

コアターゲット

高付加価値な旅を求めるモダンラグジュアリー層

目標

圏域が華やき豊かになること



2026年度～2030年度 中期計画（案）



ブランディングイメージ



山陰まんなか ブランディング事業

2026年度～2030年度 基本方針（戦略の柱）



山陰
まんが
観光局

戦略の柱

1. デイステイネーション・ブランディング

2. ツーリズム・イノベーション

3. サステナブル・マネジメント

2026年度～2030年度 基本方針（戦略の柱と目標）



戦略の柱と目標

1. 「ディステイネーション・ブランディング」

圏域の観光資源の魅力を最大限に活かし、世界中の人々に向けたブランドを確立する

- ・ 観光客誘致のためのプロモーション
- ・ 地域経済の活性化に繋がる取り組み
- ・ ブランド価値を底上げし、高付加価値なものへ昇華させる
- ・ 競争優位の確立

2. 「ツーリズム・イノベーション」

新しいアイデアを取り入れ、地域が抱える課題解決や新たな付加価値の創出を目指す

- ・ DXの推進と人材育成
- ・ AI検索全盛時代への適応
- ・ 地域資源の活用と磨き上げ
- ・ 広域連携の新しいビジネスモデルの確立

3. 「サステナブル・マネジメント」

「環境」「文化」「経済」「経済」の観点で、持続可能かつ発展性のある観光を目指す

- ・ 魅力的な観光資源の保全
- ・ 多様性に即したデータ収集と反映
- ・ 伝統文化の継承と活用

2026年度～2030年度 施策スケジュール (案)



施策スケジュール



ゲートウェイ戦略

新ゲートウェイ戦略(案)

Point ターゲティング、サステイナビリティなど「ゲートウェイ戦略」を元に導き出す

観光に関するデータ収集・分析

- ・データ収集、分析によるマーケティング
- ・関係者間のデータの共有
- ・圏域内共通の観光データベースの構築

観光関係者との体制構築

- ・多様な関係者間の調整、合意形成
- ・コアメンバーによる定期的な協議

一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域観光局 令和8年度当初予算(案)

【歳入】		R7年度予算		R8年度予算		当初予算比較		備考	
項	目	当初予算額	補正額 1号・2号	現計予算額	予算額	当初予算 比較	備	考	(単位：千円)
負担金	負担金	45,879	0	45,879	45,879	0			
会費	会費	6,850	0	6,850	6,850	0			
	正会員	6,570	0	6,570	6,570	0	5市7町村3,070	観光協会協議150	
	賛助会員	280	0	280	280	0	賛助会員6団体		
補助金	補助金	1,750	0	1,750	0	△1,750			
繰越金	繰越金	7,000	8,681	15,681	6,399	△601	カブセルトイ売上見込み1,400を含む		
諸収入	諸収入	1	0	1	1	0	利息		
合計	合計	61,480	8,681	70,161	59,129	△2,351			
【歳出】									
項	目	当初予算額	補正額 1号・2号	補正後予算額	予算額	当初予算 比較	財源内訳 負担金 会費 補助金 繰越金等	備考	(単位：千円)
ブランディング	ブランディング	3,200	0	3,200	5,000	1,800	0 5,000 0 0		
マーケティング	マーケティング	1,085	1,000	2,085	6,430	5,345	6,430 0 0 0		
プロモーション	プロモーション	29,276	10,366	39,642	25,547	△3,729	22,147 0 0 3,400		
	インバウンドプロモーション	16,730	4,716	21,446	15,147	△1,583	15,147 0 0 0		
	国内プロモーション	12,546	5,650	18,196	10,400	△2,146	7,000 0 0 3,400		
受入環境整備	受入環境整備	8,902	0	8,902	9,635	733	9,635 0 0 0		
	外国人受入環境整備	7,649	0	7,649	7,285	△364	7,285 0 0 0		
	国内受入環境整備	1,253	0	1,253	2,350	1,097	2,350 0 0 0		
2025大阪・関西万博誘客事業	2025大阪・関西万博誘客事業	3,500	△3,500	0	0	△3,500	0 0 0 0		
	ばけげばけ	3,000	0	3,000	0	△3,000	0 0 0 0		
	加入団体費等	3,000	0	3,000	0	△3,000	0 0 0 0		
	加入団体費等	2,481	0	2,481	2,481	0	2,481 0 0 0		
事務局費	事務局運営費	8,036	0	8,036	8,036	0	186 6,850 0 1,000	事務経費	
予備費	予備費	2,000	815	2,815	2,000	0	0 0 0 2,000	前年度繰越金	
合計	合計	61,480	8,681	70,161	59,129	△2,351	45,879 6,850 0 6,400		

令和8年度 中海・宍道湖・大山圏域観光局 事業計画（案）

02 事業費

2 訪ねてみたい圏域づくり（観光振興）

協定に基づき圏域DMOが実施

事業項目	01 ブランディング		
事業名	ブランディング		
事業概要		令和7年度予算額	3,200,000 円
戦略的かつサステイナブルな観光地経営を実現するための中長期計画策定や当該圏域での観光テーマを形成していくためのブランディング等を実施する。		令和8年度予算額	5,000,000 円
	財 源 内 訳	市長会負担金	5,000,000 円
		DMO会費	0 円
		国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
		その他繰越金	0 円
1. 事業内容			
(1) ブランディング事業			
○インバウンド戦略およびブランドコンセプトの策定 本圏域への訪問価値や世界観などのブランドコンセプトを策定し、ブランド力を高める。			
2. 経費内訳			
(1) ブランディング事業			
○インバウンド戦略およびブランドコンセプトの策定			
検討支援の委託業務に係る経費		5,000,000 円	
		計	5,000,000 円

事業項目	02 マーケティングリサーチ		
事業名	データ分析・活用		
事業概要		令和7年度予算額	1,085,000 円
各種データ等の継続的な収集・分析、データに基づく明確なコンセプトに基づいた戦略の策定やKPIの設定・PDCAサイクルの確立等を実現するための基盤を強化する。	財 源 内 訳	令和8年度予算額	6,430,000 円
		市長会負担金	6,430,000 円
		D M O 会費	0 円
		国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
		その他	0 円
1. 事業内容			
(1) 観光関連データの活用 拡充			
○圏域アンケート調査費用 圏域旅行者の観光消費額や滞在日数などの基本データを収集する。			
○圏域センサーデータ活用のためのプラットフォーム加入費 各種観光施設等に設置したセンサーで人種別の識別データ等を収集する。			
○観光予報プラットフォームの活用 宿泊予測や消費動向などの各種ビックデータを収集する。			
圏域 DMP（データマネジメントプラットフォーム）構築 DMPにより、複数のデータを収集・統合・分析し、圏域の合意形成や戦略立案に役立てる。			
2. 経費内訳			
(1) 観光関連データの活用			
○圏域アンケート調査費用		3,000,000	円
○圏域センサーデータ・観光予報プラットフォームの活用		430,000	円
○圏域 DMP 構築		3,000,000	円
	計	6,430,000	円

事業項目	03 プロモーション		
事業名	インバウンドプロモーション		
事業概要		令和7年度予算額	16,730,000 円
圏域を一体的に発信する利点を活かし、重要ターゲット国* を定め、JNTO、山陰DMOと役割分担し、国別に有効な観光プロモーションを実施する。 <small>*重要ターゲット国・・・山陽方面に来訪する欧米豪、直通及び近隣の国際路線による東アジア（韓国、台湾、中国）</small>	財源内訳	令和8年度予算額	15,147,000 円
		市長会負担金	15,147,000 円
		DMO会費	0 円
		国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
		その他	0 円
1. 事業内容			
(1) 欧米豪向け 拡充			
○ML層誘客のためのプロモーション事業 ブランドコンセプトを基に、FAM ツアーや現地旅行博への出展などを行う。			
○航空会社と連携した事業 航空会社と連携し、圏域の認知度向上や誘客促進に取り組む。			
(2) 東アジア向け			
米子鬼太郎空港から直行便がある韓国・台湾を中心に事業実施。			
○現地旅行会社を活用した誘客事業 現地セールス・FAM ツアーや圏域内旅行商品造成への補助などを行う。			
○現地旅行博等でのプロモーション事業 台北温泉祭りをはじめとするイベント出展を実施する。			
(3) インド向け 新規			
○インセンティブ旅行誘致（旅行商品造成） インド企業に報奨旅行・視察旅行を促進する。			
2. 経費内訳			
(1) 欧米豪向け			
○ML層誘客のためのプロモーション事業		5,247,000	円
○航空会社と連携した事業		2,000,000	
(2) 東アジア向け			
○現地旅行会社を活用した誘客事業		6,000,000	円
○現地旅行博等でのプロモーション事業		1,000,000	円
(3) インド向け			
○インセンティブ旅行誘致（旅行商品造成）		900,000	円
	計	15,147,000	円

事業項目	03 プロモーション		
事業名	国内プロモーション		
事業概要		令和7年度予算額	12,546,000 円
	人口集中地域である大都市部への集中的なプロモーションや国内全域からの誘客促進を図るための多角的な情報発信等を行う。		令和8年度予算額
財 源 内 訳		市長会負担金	7,000,000 円
		D M O 会費	0 円
		国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
その他	繰越金	3,400,000 円	

1. 事業内容

(1) web・イベント出展によるプロモーション

- 日本語版ホームページの管理・運営
- アニメ「えんむす」とのタイアップ
Youtube チャンネルで放送中の人気アニメとタイアップし、圏域周遊につながるキャンペーン等を行う。
- 国内旅行博等でのプロモーション事業
アニメ「えんむす」とのタイアップによる周遊促進キャンペーンの実施などに合わせて、イベント出展によるプロモーションを実施。

(2) 基幹交通機関と連携した観光プロモーション

- JR、AIR(特に FDA 路線)と連携した誘客事業

2. 経費内訳

(1) web・イベント出展によるプロモーション

- 日本語版ホームページの管理・運営 2,000,000 円
- アニメ「えんむす」とのタイアップ
キャラクター使用料 1,100,000 円
周遊キャンペーン 2,300,000 円
- 国内旅行博等でのプロモーション事業 3,500,000 円

(2) 基幹交通機関と連携した観光プロモーション

- JR、AIR(特に FDA 路線)と連携した誘客事業 1,500,000 円

計 10,400,000 円



【チャンネル登録者数→15.7万人】



【配信回再生数→24万回】

事業項目	04 受入環境整備		
事業名	外国人受入環境整備		
事業概要		令和7年度予算額	7,649,000 円
地域連携DMOの役割である「かせげる圏域づくり」を目指し、圏域観光の魅力を充実させ、国内外から圏域へ来訪する観光客の受け入れの充実を図るなど、リピーターの確保に繋がる取組を実施する。	財 源 内 訳	令和8年度予算額	7,285,000 円
		市長会負担金	7,285,000 円
		DMO会費	0 円
		国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
		その他	0 円
1. 事業内容			
(1) 外国人観光客受入環境整備			
○観光案内所及び圏域内事業所の外国人受入環境整備事業 受入環境充実に向けたセミナーやアンケート等を実施する。			
○多言語パンフレット製作 令和6年度に刷新した「山陰まんなかぐるり旅」の各言語版を製作する。			
(2) クルーズ客船寄港時のおもてなし			
○岸壁におけるお見送りイベントの実施 クルーズ客船乗客及びクルー向けのお見送りイベント（伝統芸能団体や地元演奏団体による演芸披露）を行う。			
○外国語観光案内業務及びボランティアの募集登録・管理 外国語による観光案内ができる通訳ボランティアの募集・登録を行い、観光案内業務を実施する。			
○境港～圏域各市へのシャトルバス運行 新規 フリー客を圏域内に拡散させることを目的に各シャトルバスを運行する。			
2. 経費内訳			
(1) 外国人観光客受入環境整備			
○観光案内所及び圏域内事業所の外国人受入環境整備事業 セミナー、アンケート実施等経費 500,000 円			
○多言語パンフレット製作 英語版制作・印刷費 1,795,000 円			

(2) クルーズ客船寄港時のおもてなし

○岸壁におけるお見送りイベントの実施

外国語 MC 謝礼金および出演団体調整等にかかる経費 2,000,000 円

○外国語観光案内業務及びボランティアの募集登録・管理

案内業務および募集登録・管理にかかる業務委託費 750,000 円

○境港～松江・米子間のシャトルバス運行

2,240,000 円

計 7,285,000 円

事業項目	04 受入環境整備		
事業名	国内受入環境整備		
事業概要		令和7年度予算額	1,253,000 円
地域連携DMOの役割である「かせげる圏域づくり」を目指し、圏域観光の魅力を充実させ、国内外から圏域へ来訪する観光客の受け入れの充実を図るなど、リピーターの確保に繋がる取組を実施する。	財 源 内 訳	令和8年度予算額	2,350,000 円
		市長会負担金	2,350,000 円
		DMO会費	0 円
		国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
		その他	0 円
1. 事業内容			
(1) 圏域内イベント参加費			
○美保基地航空祭出展費用 集客力の強い美保基地航空祭に出展し、観光PRを実施する。			
(2) パンフレット増刷経費			
○「山陰まんなかぐるり旅」増刷			
(3) ノベルティ製作費			
○ノベルティ製作			
(4) 観光人材育成 新規			
○島根県立大学との連携協定に基づく負担金 圏域内での観光カリキュラム実施を支援し、観光人材育成に繋げる。			
2. 経費内訳			
(1) 圏域内イベント参加費			
○美保基地航空祭出展費用 備品購入など出展にかかる経費 400,000 円			
(2) パンフレット増刷経費			
○「山陰まんなかぐるり旅」増刷 710,000 円			
(3) ノベルティ製作費			
○ノベルティ製作 640,000 円			
(4) 観光人材育成			
○島根県立大学との連携協定に基づく負担金 600,000 円			
計			2,350,000 円

事業項目	07 加入団体会費等		
事業名	加入団体会費等		
事業概要		令和7年度予算額	2,481,000 円
当局の事業をより効果的に実施していくために関係団体との連携を強化する。		令和8年度予算額	2,481,000 円
	財源内訳	市長会負担金	2,481,000 円
		DMO会費	0 円
		国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
	その他	0 円	
1. 事業内容			
(1) 加入団体会費等			
	・ JNTO 賛助金 (JNTO を活用したプロモーション)	300,000 円	
	・ 中国地域観光推進協議会会費	50,000 円	
	・ 「21世紀出雲空港整備利用促進協議会」及び「米子空港 利用促進懇話会」が実施する両空港の冬季利用促進事業	1,500,000 円	
	・ 日本観光振興協議会会費	120,000 円	
	・ 総会・DMO 会議出席旅費	511,000 円	
2. 経費内訳			
	1に同じ		
		計	2,481,000 円

事業項目	08 中海・宍道湖・大山圏域観光局事務局運営費			
事業名	中海・宍道湖・大山圏域観光局の運営			
事業概要			令和7年度予算額	8,036,000 円
			令和8年度予算額	8,036,000 円
	財 源 内 訳	市長会負担金		186,000 円
		DMO会費		6,850,000 円
		国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
	その他	繰越金	1,000,000 円	
1. 事業内容				
(1) 圏域観光局総会・理事会の開催				
(2) 山陰DMOとの連絡会の開催				
(3) 観光事業の関係者を集めた協議の場の設置 新規				
(4) 観光局の運営に係る嘱託職員等の雇用				
(5) DMO組織の運営強化及び安定的な事務局運営の構築				
2. 経費内訳				
・事務局運営費（嘱託職員、アドバイザー経費を含む）			8,036,000 円	
		計	8,036,000 円	